

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	公衆衛生学1
科目基礎情報				
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	衛生学・公衆衛生学 東洋療法学校協会編 鈴木 庄亮著 医道の日本社			
担当教員情報				
担当教員	奥山 タ記子	実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的				
健康とは予防医学とは何かを理解し、日々の生活環境の中で健康を保持したり、病気にならないために個人が行うこと、家族が行うこと、市町村や都道府県が行うこと、国の政策として行われていること、WHOを中心とする国際活動の中で行われていること、身近な努力からグローバルな政策まで幅広く学ぶ。特に鍼灸師として知っておかなければならない項目に関しては時間をかけて学ぶ。				
到達目標				
医療人として患者個人の施術を行うだけでなく、地域や職域のみならず国民全体の疾病の予防や健康増進に寄与できる鍼灸師になるのが目標である。衛生学は医学だけでなく栄養学、心理学、社会学、社会福祉学、法学なども密接に関わる学問なので、広い視野と一般常識も含めた知識、なにより人を思いやる心が育つことが重要である。				
教育方法等				
授業概要	教科書の中だけでは理解しづらい内容に関しては、スマートフォンやPCの検索により情報を各自が得ながら授業を進める。自分の住んでいる地域と他の地域で衛生的にどのような違いがあるのかを確認したり、クラスで話し合いも行う。歴史や社会的に変化がみられる内容は、できる限り最新の情報を提供する。個人ワーク以外に毎回グループワークも行い理解を深める。			
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	100%	期末試験	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
平常点	0%			
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	衛生学 公衆衛生学活動と意義	衛生学は何を学ぶ学問かを理解する		
2回	衛生学 健康の概要	健康をどう考えるか WHOの健康の定義		
3回	病気と健康 健康管理	スクリーニング検査などの健康管理について理解する		
4回	病気と健康 疾病の予防 個人・地域保健	地域保健センターについて理解する		
5回	病気と健康 疾病の予防 日本・国際機関	保健所、国の健康政策について理解する		
6回	疾病の自然史と予防医学	疾病の段階による予防医学について理解する		
7回	医療制度と医療保障	社会保障制度と国民皆保険について理解する		
8回	医療制度と医療保障	国民医療費とその推移について理解する		
9回	食品衛生 食事摂取基準	健康を保つための食事の指標について理解する		
10回	食中毒（細菌性、自然毒性、化学物質性）	食中毒の原因と症状、予防について理解する		
11回	食中毒（細菌性、自然毒性、化学物質性）	食中毒の原因と症状、予防について理解する		
12回	環境と健康 日常生活環境要因 気候、空気について	気温、気湿などの気候要素と人体への影響について理解する		
13回	環境と健康 日常生活環境要因 大気汚染物質	大気汚染物質の分類と人体への影響について理解する		
14回	環境と健康 日常生活環境要因 大気汚染物質	大気汚染物質の分類と人体への影響について理解する		
15回	まとめ	全体のまとめ		